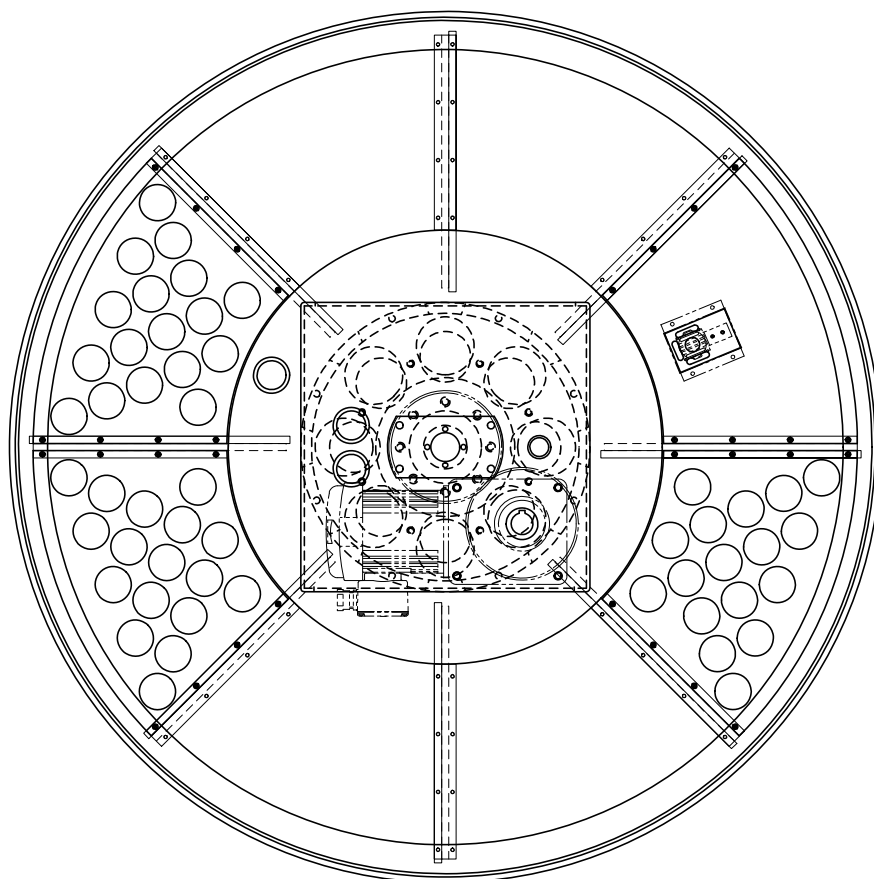
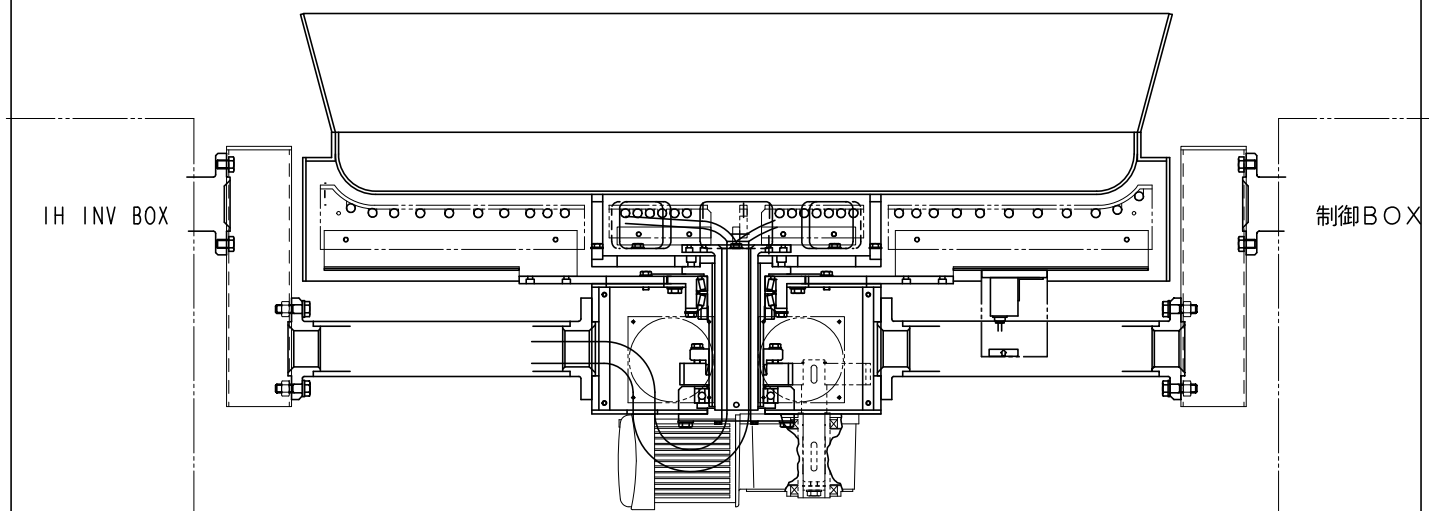
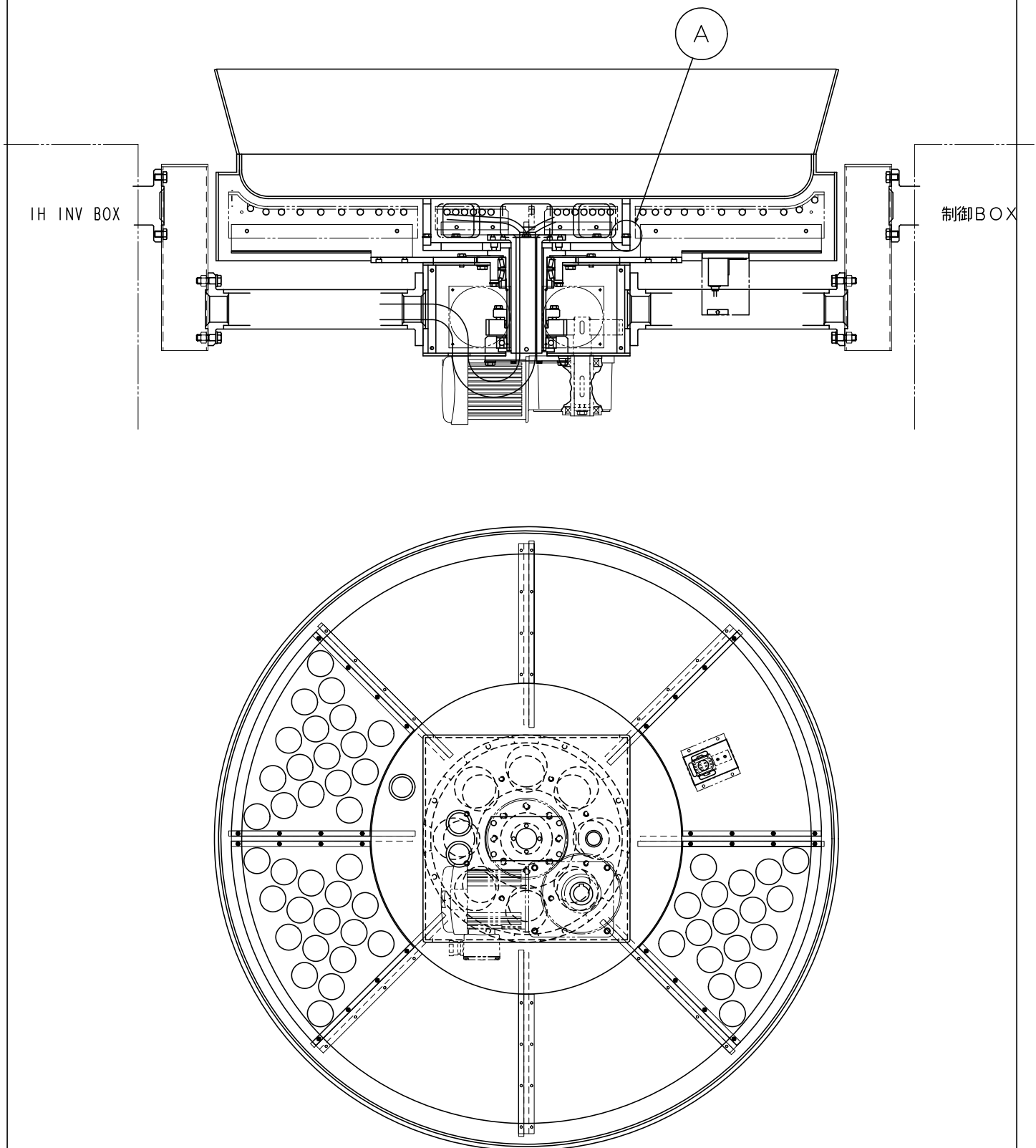


注意 作業前には本機のブレーカー電源を必ず落として（OFFにして）下さい。加熱コイルには漏れ電流が流れているので大変危険です。

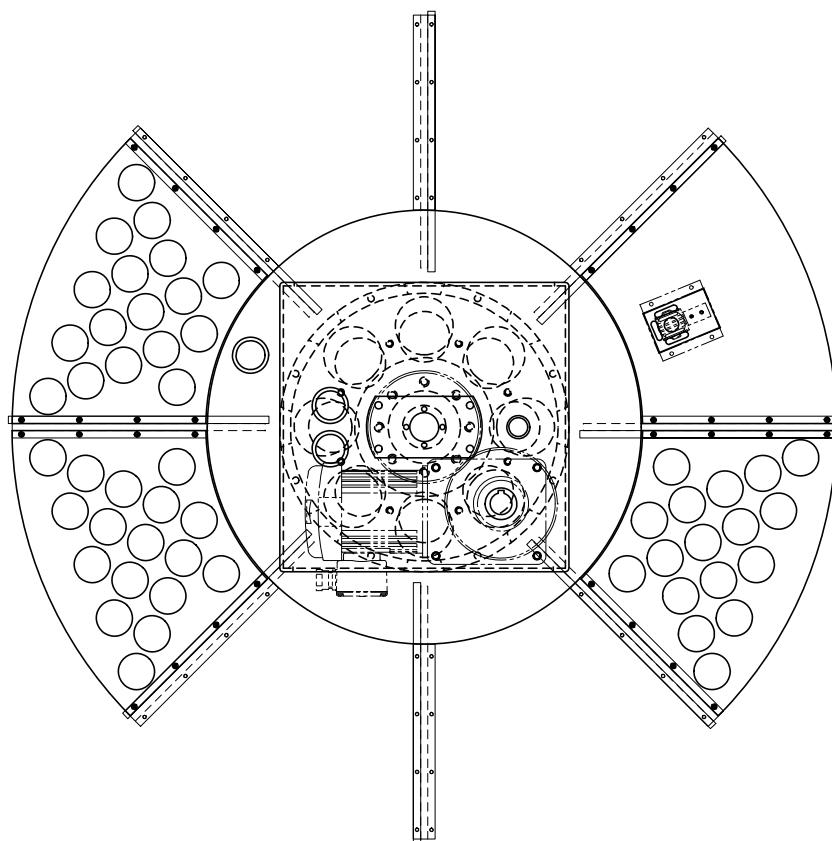
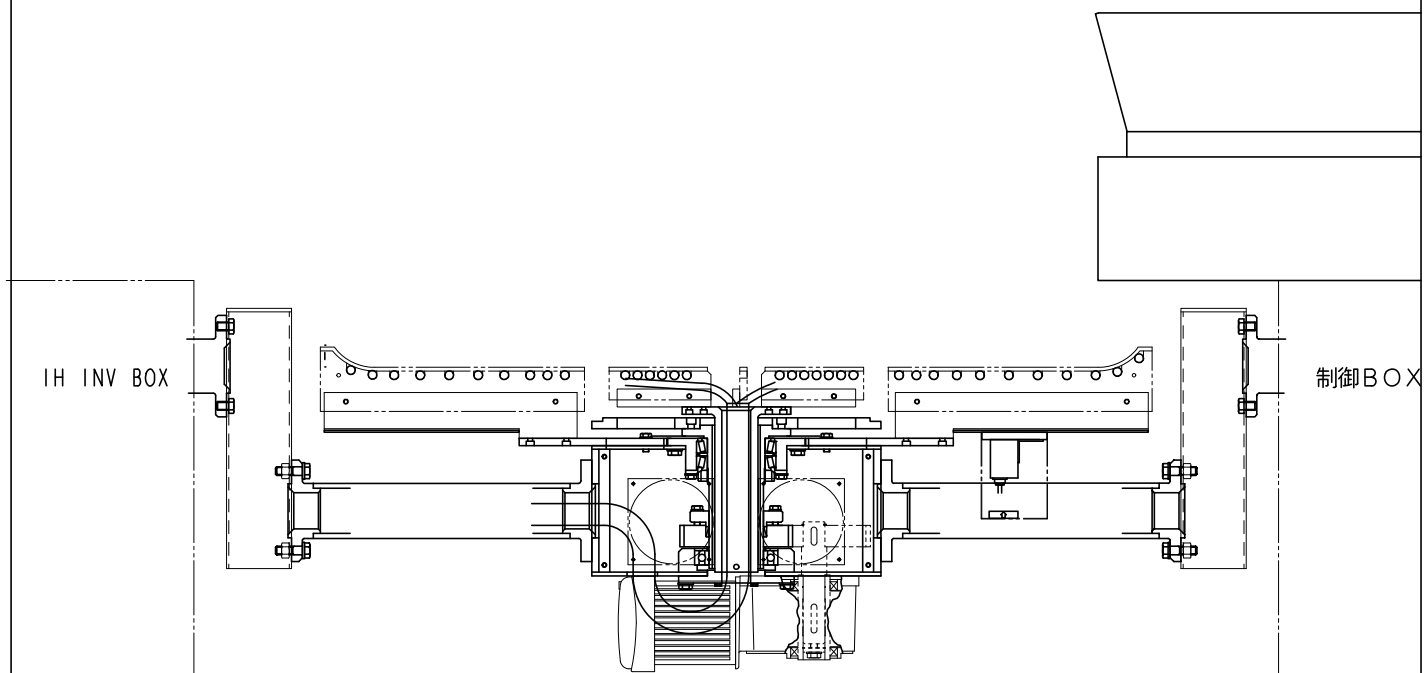
1. なべ裏側のバーク製カバーを投入側と排出側の各2枚取り外して下さい。



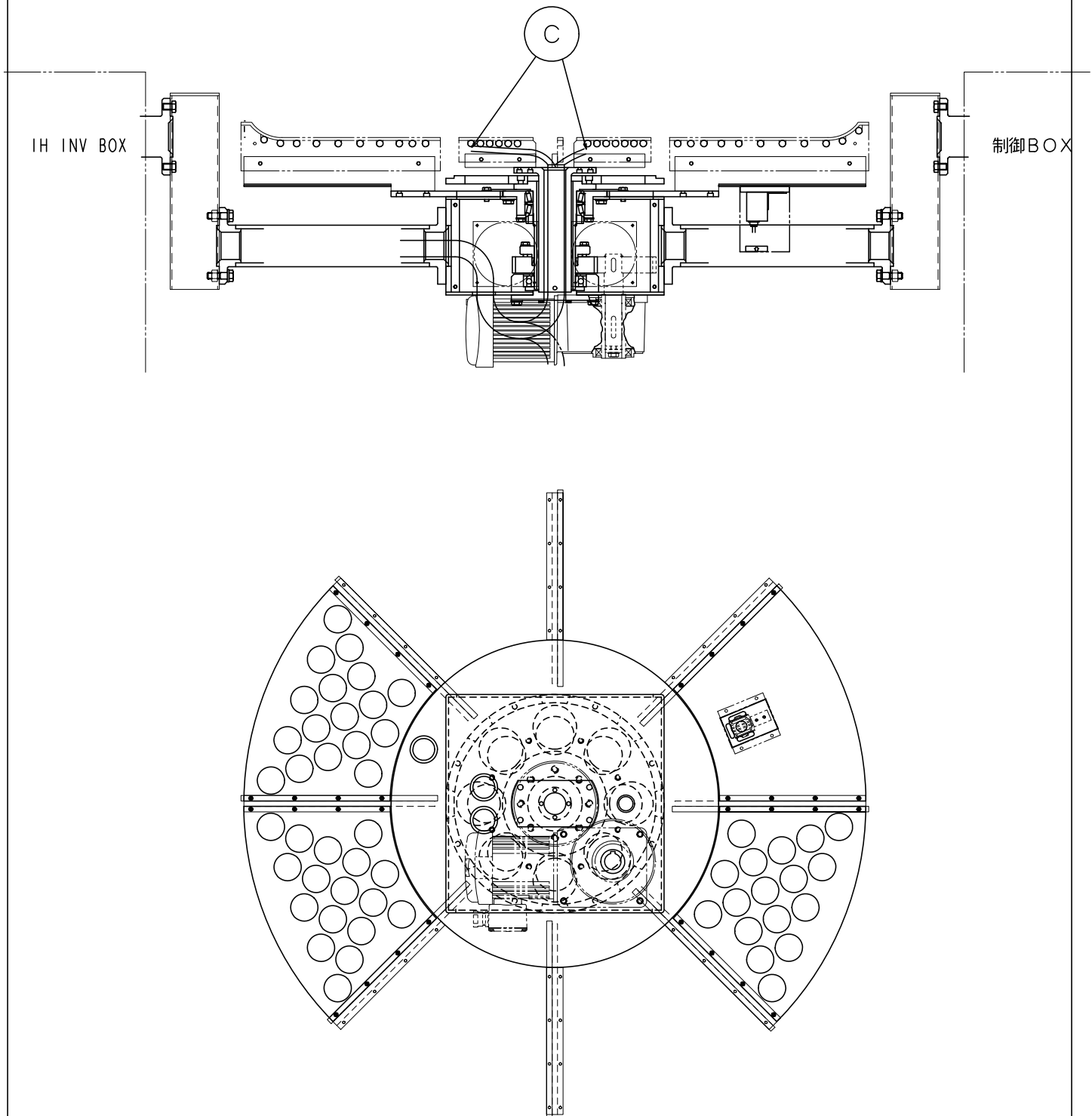
2. 次になべを固定しているボルトを緩めます。図中Aの部分の六角ボルト8本を緩めて下さい。



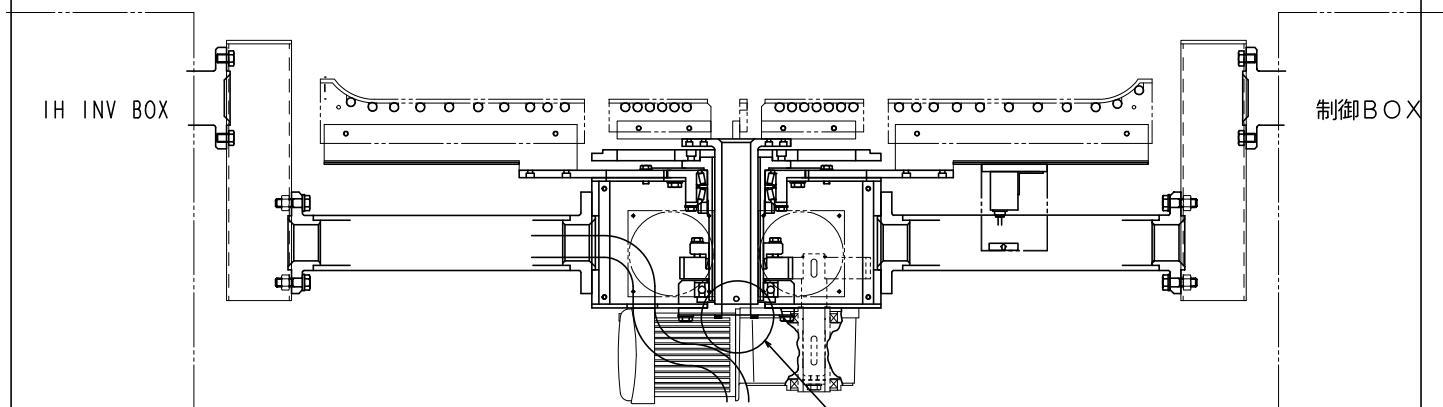
3. 次になべを下ろします。投入側と排出側から2人で、なべを持ち上げる形で吊り上げて隣のBOX上等
安全な場所に仮置きして下さい。(転倒しない様に十分注意して下さい。)



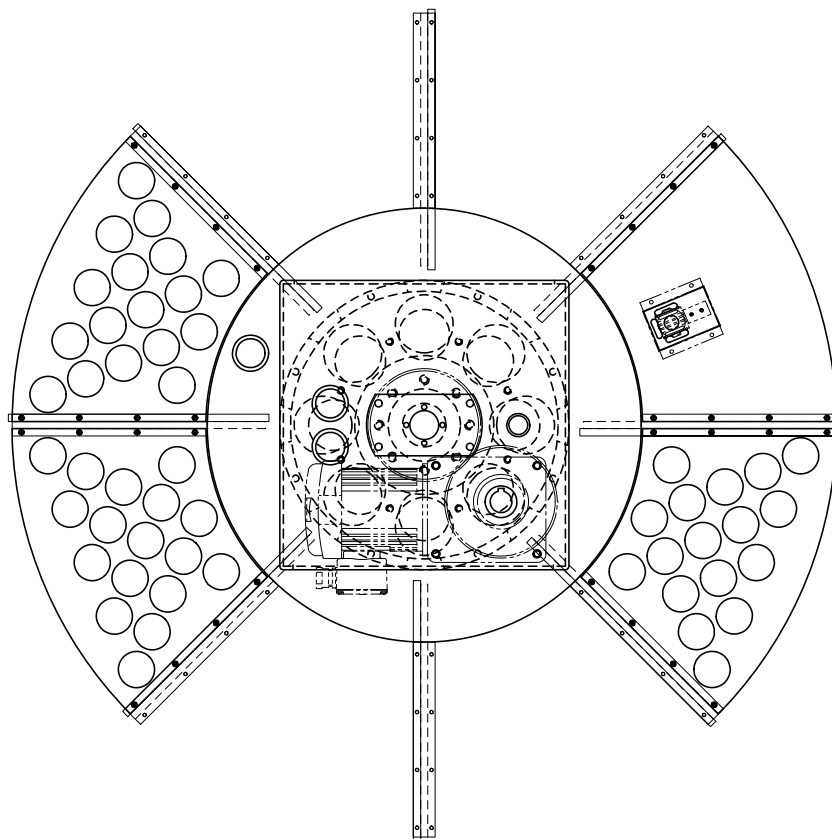
4. 内側の加熱コイルに接続している線を外します。外したケーブルは中心から出ていますので下側へ抜いて下さい。（下図C部）



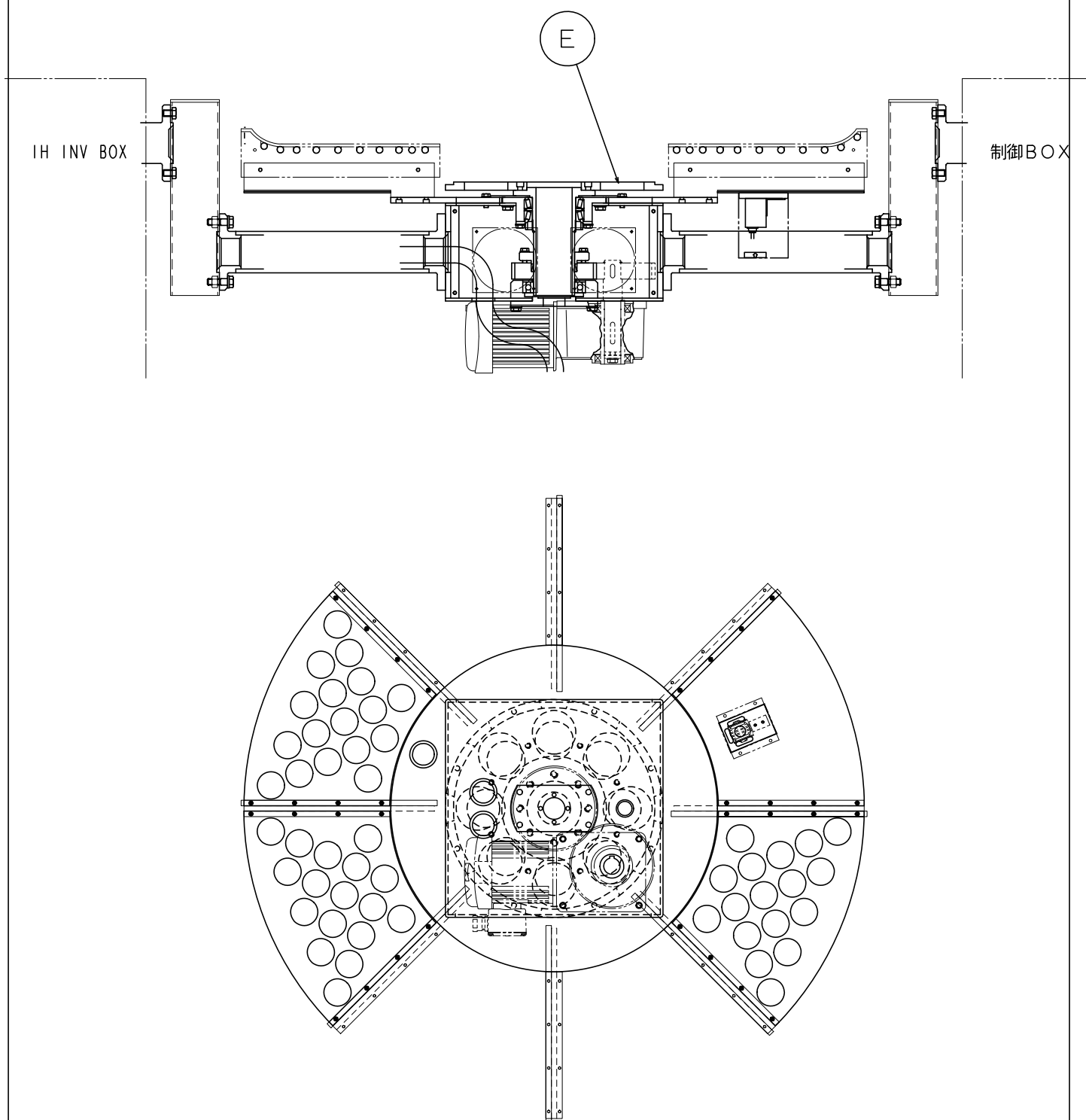
5. 次にDの部分のボルトを4本緩めて内巻きコイルユニットを外して下さい。



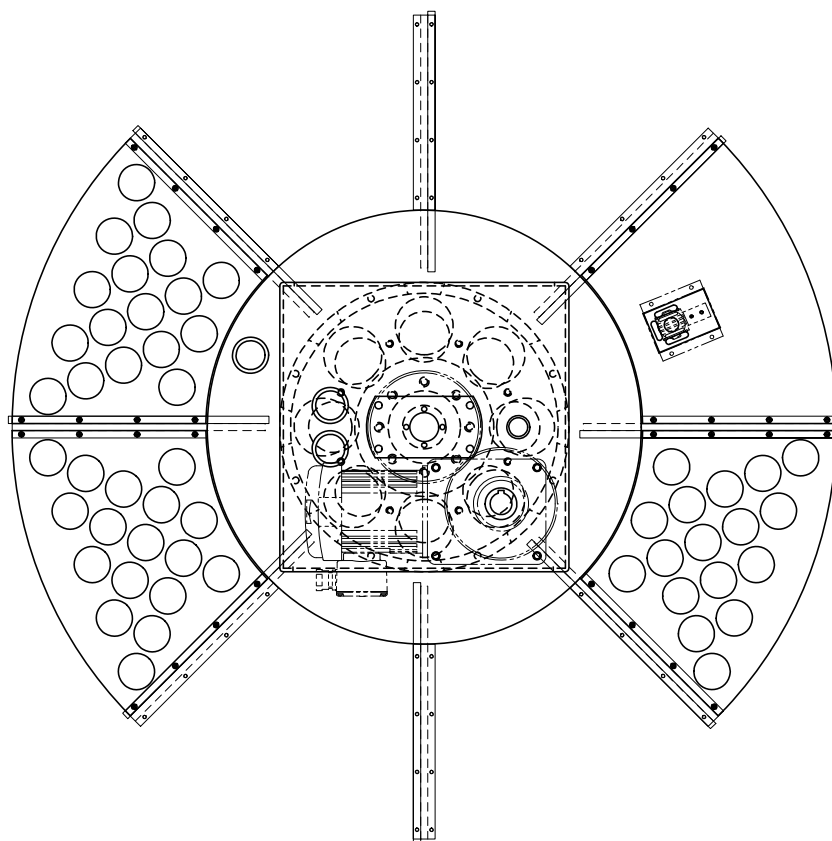
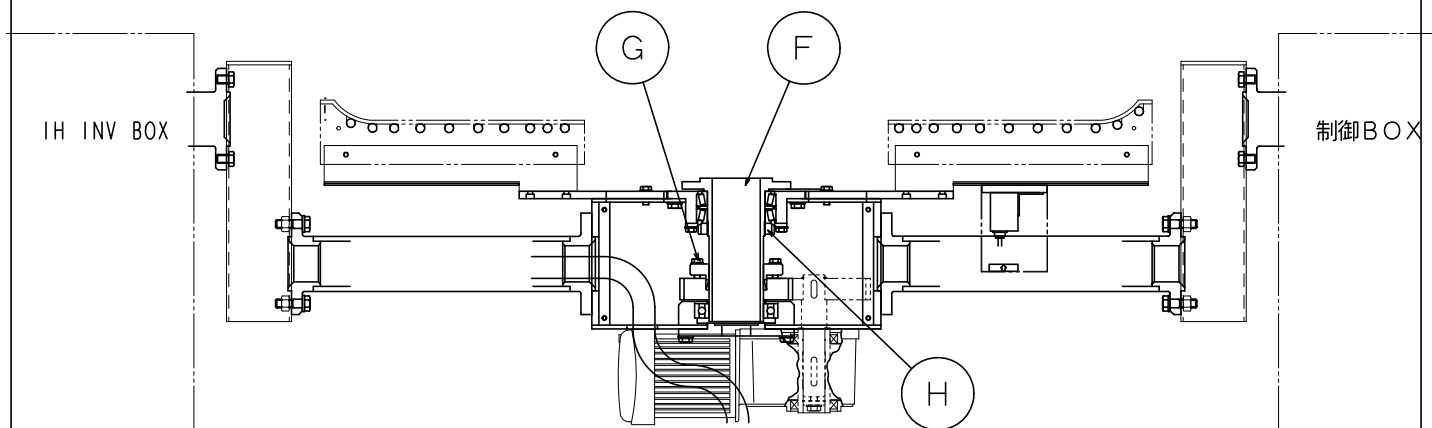
D M6六角ボルト



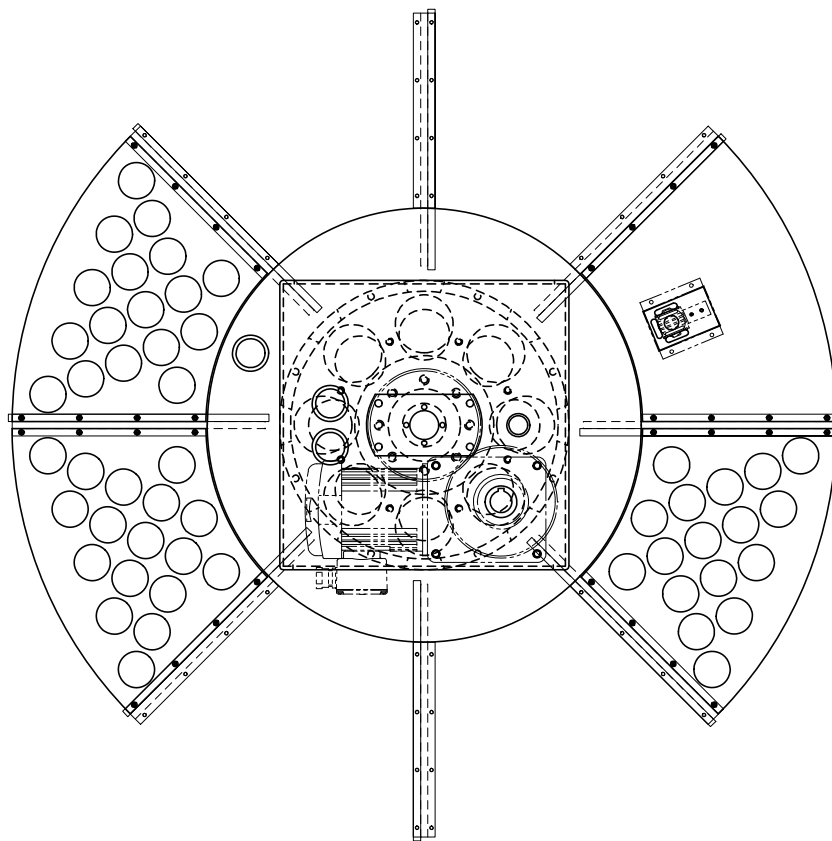
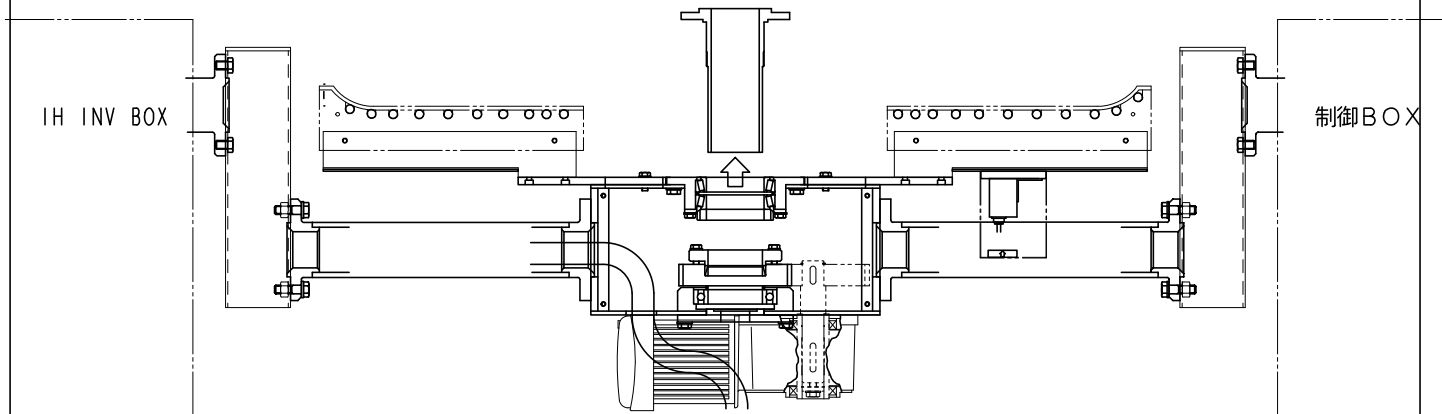
6. 次にEの円盤を外して下さい。



7. 次にFの中空軸を抜きますのでBOXの前後のカバーを外して下さい。
BOX内に平歯車があり、その上にテーパー止めるGのボルト8本はありますので
順番に緩めて下さい。また、その上にある大きなナットHも緩めて下さい。



8. ボルトを緩めたら、ゆっくり上方向に中空軸を外して下さい。(少し抜きにくいかもしれません。)



9. 最後にケーシングごと円錐ころベアリングユニットを外します。止めボルトはBOX内のM10のボルトです。復旧はばらした手順の逆で組み付けて下さい。
(注：グリス穴がある場合にはグリス穴を正面位置にセットして、ボルト締めして下さい。)

